

重点環境施策1 身近な自然環境に対する意識の高揚を図り、自然との共生に取り組みます。

前期指標	策定時現状値	実績値推移					前期目標
		H30	R1	R2	R3	R4	
米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然を、他に誇れると思う市民の割合（市民意識調査）	64.5% (H29)	-	63.0%	65.0%	68.3%		75.0%
グラフ （説明）毎年定期的に行っている市民意識調査において、米代川やきみまち阪、風の松原など豊かな自然を他に誇れると「思う」、「どちらかと言えば思う」という肯定的な意見の合計。							
推移の分析・考えられる要因 横ばい 令和元年度から3年度まで上昇しています。4年度は、現在集計中です。なお、平成30年度は、調査項目の見直しがあり、欠測となっています。 令和2年以降は、コロナ禍で大きなイベントが見送られたり、市街地への外出に制約が多かったことから、相対的に身近な自然環境への意識が高まったことが考えられます。							

【後期計画に向けて】

指標の方向	継続
その理由 (削除の場合)	
R9 目標値	目標値設定理由
75.0%	引き続き、前期目標値を目指します。
今後の施策の方向性、考えられる対策等 ・ 施策の方向性：身近にある豊かな自然を実感できるよう情報発信に努めます。 ・ 考えられる対策等：環境学習事業である能代こども環境探偵団や環境大学で自然観察等自然に触れる機会を増やすとともに、市広報やホームページを活用し、それらの情報発信に努めます。	
対応する SDGs 目標	